

平成23年度県民アンケート調査結果の概要について

		質 問 の 分 類	問題番号	ページ
経 年 変 化 を み る 項 目	I	・生活全般に関すること (1)現在の暮らし向きの実感 (2)1年前と比較した暮らし向きの実感 (3)日頃の生活での悩みや不安の内容	問1～8	1 2 5
	II	・生活に関する重要度・満足度 (1)重要度・満足度の一覧(県全体) 【参考】重要度・満足度・ニーズ得点(前回比較・今回のニーズ得点が高い順) (2)ニーズ得点の上位 (3)重要度上位5項目、満足度上位・下位5項目 (4)重要度・満足度の一覧(地域別)	問9	7 8 9 9 10
今 年 の テ ー マ 項 目	III	・仕事に関する意識やニーズ (1)現在の仕事を選んだ理由 (2)働いていない人の就労に対する意向 (3)求職者(女性)が働くための条件として重視すること (4)女性求職者の通勤時間に対する意向と女性有職者の通勤時間	問10～21	11 12 12 13
	IV	・くらしやすいまちづくりに関する意識やニーズ (1)まちづくりに関する評価 (2)日頃から行っている災害等への備え	問22～31	14 18

平成23年11月

広報広聴課、政策推進課、行政経営課、統計課の4課PT
とりまとめ 統計課

◆ライフステージの区分と区分の設定条件

若 者…20～29歳で、夫婦のみの世帯以外の世帯の回答者

夫 婦…20～64歳で、夫婦のみの世帯の回答者

育 児 期…小学校入学前の子どもがいる世帯の回答者

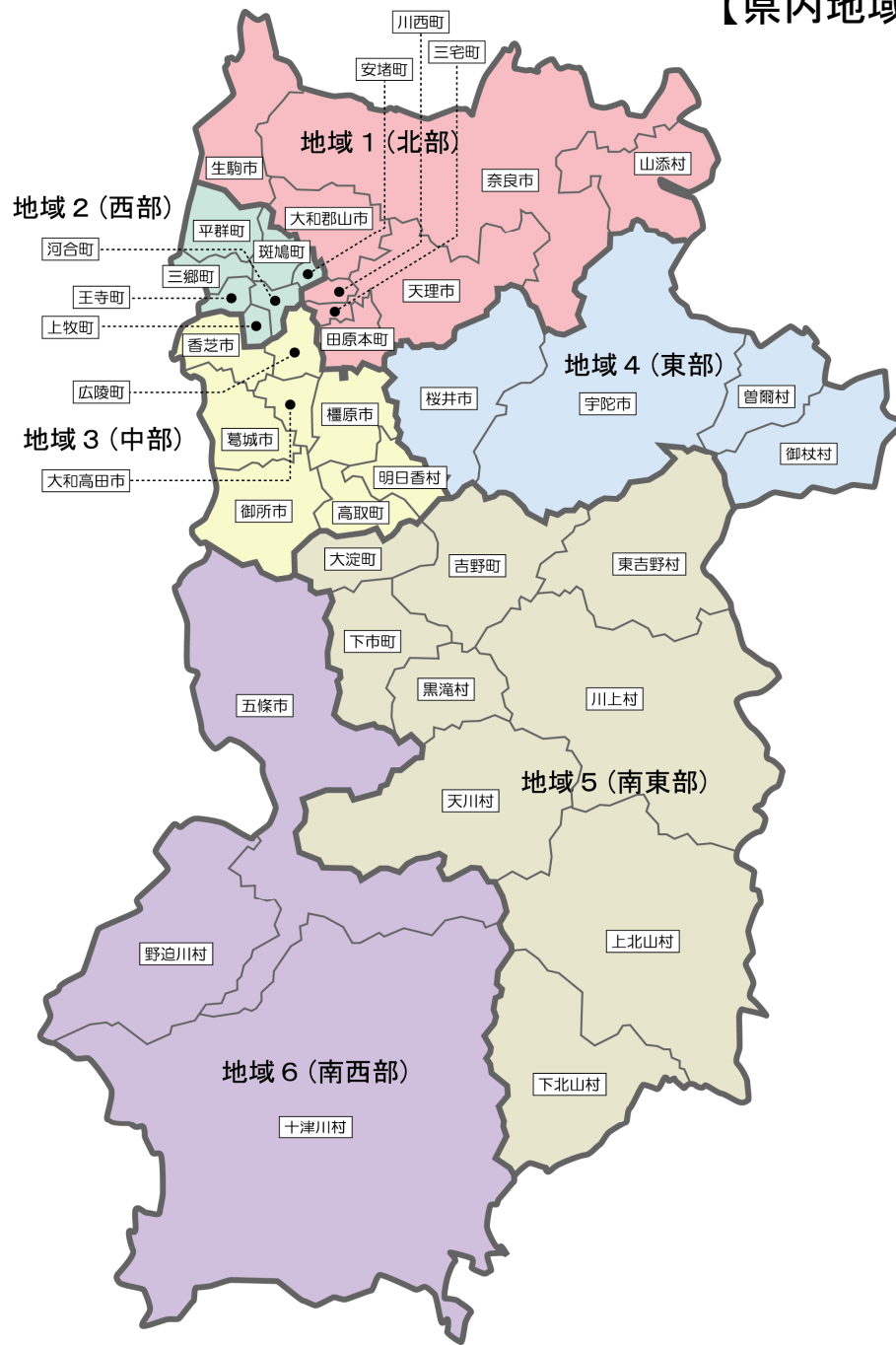
教育期前期…小・中学生、高校生の子どもがいる世帯の回答者

教育期後期…専門学校生・短大生・大学生（院生）の子どもがいる世帯の回答者

単身高齢者…65歳以上の単身世帯の回答者

高齢者夫婦…65歳以上の夫婦のみの世帯の回答者

【県内地域区分図】



区分名	市 町 村 名
地域1 (北部)	奈良市・大和郡山市・天理市・生駒市・山添村・川西町・三宅町・田原本町
地域2 (西部)	平群町・三郷町・斑鳩町・安堵町・上牧町・王寺町・河合町
地域3 (中部)	大和高田市・橿原市・御所市・香芝市・葛城市・高取町・明日香村・広陵町
地域4 (東部)	桜井市・宇陀市・曽爾村・御杖村
地域5 (南東部)	吉野町・大淀町・下市町・黒滝村・天川村・下北山村・上北山村・川上村・東吉野村
地域6 (南西部)	五条市・野迫川村・十津川村

平成23年度県民アンケート調査結果の概要について

1. 生活全般について

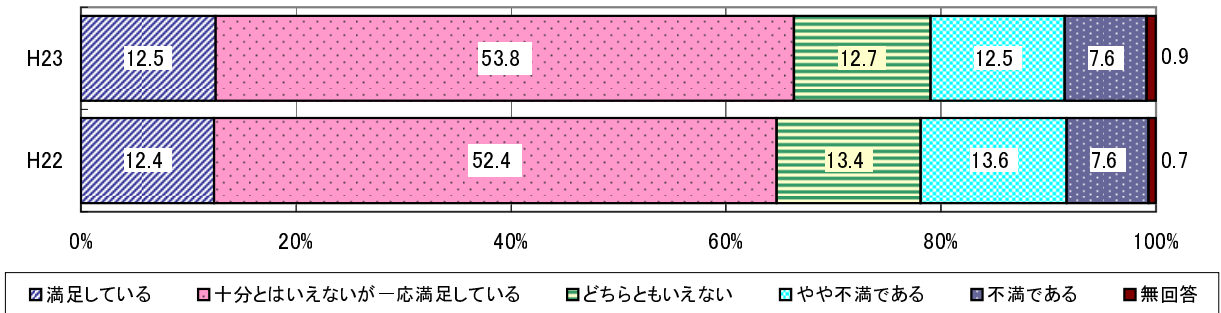
(1) 現在の暮らし向きの実感

○「満足」している(「満足している」+「十分とはいえませんが一応満足している」)人は66.3%で、昨年度より1.5ポイントの増加。

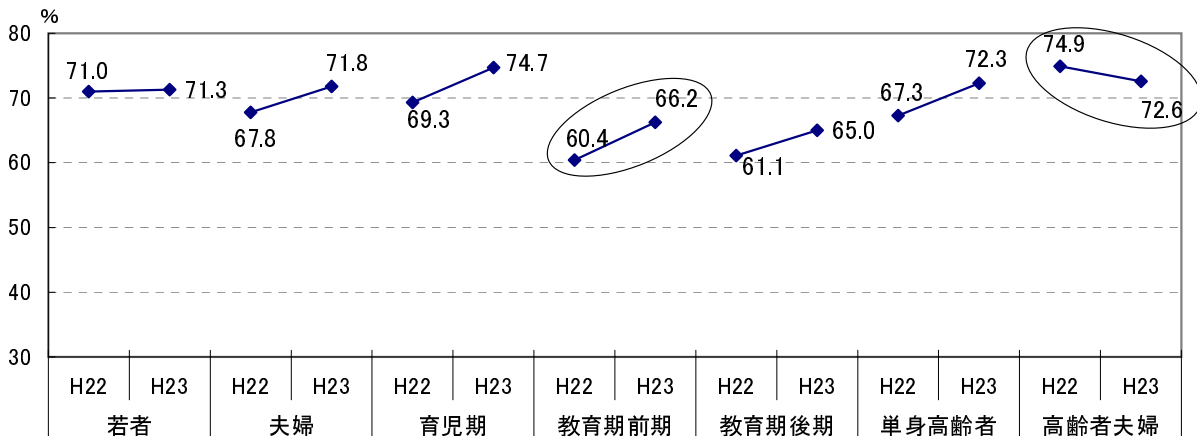
○一方、「不満」を抱えている(「不満である」+「やや不満である」)人は20.1%と、1.1ポイント減少。

○ライフステージ別にみると、「高齢者夫婦」を除くすべてのライフステージで「満足」している人が増加。特に「教育期前期」の増加幅は5.8ポイントと最も大きい。「高齢者夫婦」だけが2.3ポイント減少し、72.6%。

● 現在の暮らし向きの実感(県全体)



● ライフステージ別の「満足している」割合の変化



ライフステージの区分と区分の設定条件
 若者…20～29歳で、夫婦のみの世帯以外の世帯の回答者
 夫婦…20～64歳で、夫婦のみの世帯の回答者
 育児期…小学校入学前の子どもがいる世帯の回答者
 教育期前期…小・中学生、高校生の子どもがいる世帯の回答者
 教育期後期…専門学校生・短大生・大学生(院生)の子どもがいる世帯の回答者
 単身高齢者…65歳以上の単身世帯の回答者
 高齢者夫婦…65歳以上の夫婦のみの世帯の回答者

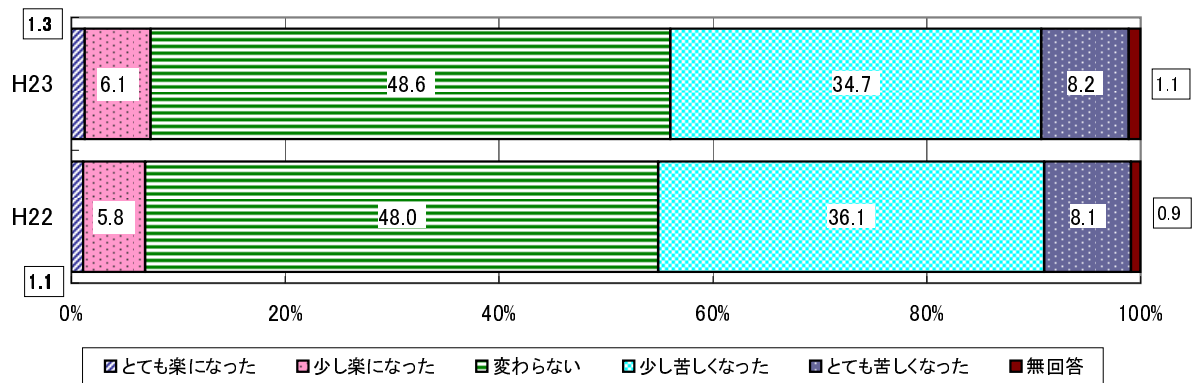
(2) 1年前と比較した暮らし向きの実感

○ 県全体で、42.9%の人が「苦しくなった」(「とても苦しくなった」+「少し苦しくなった」)と感じているが、昨年度に比べると1.3ポイントの減少。

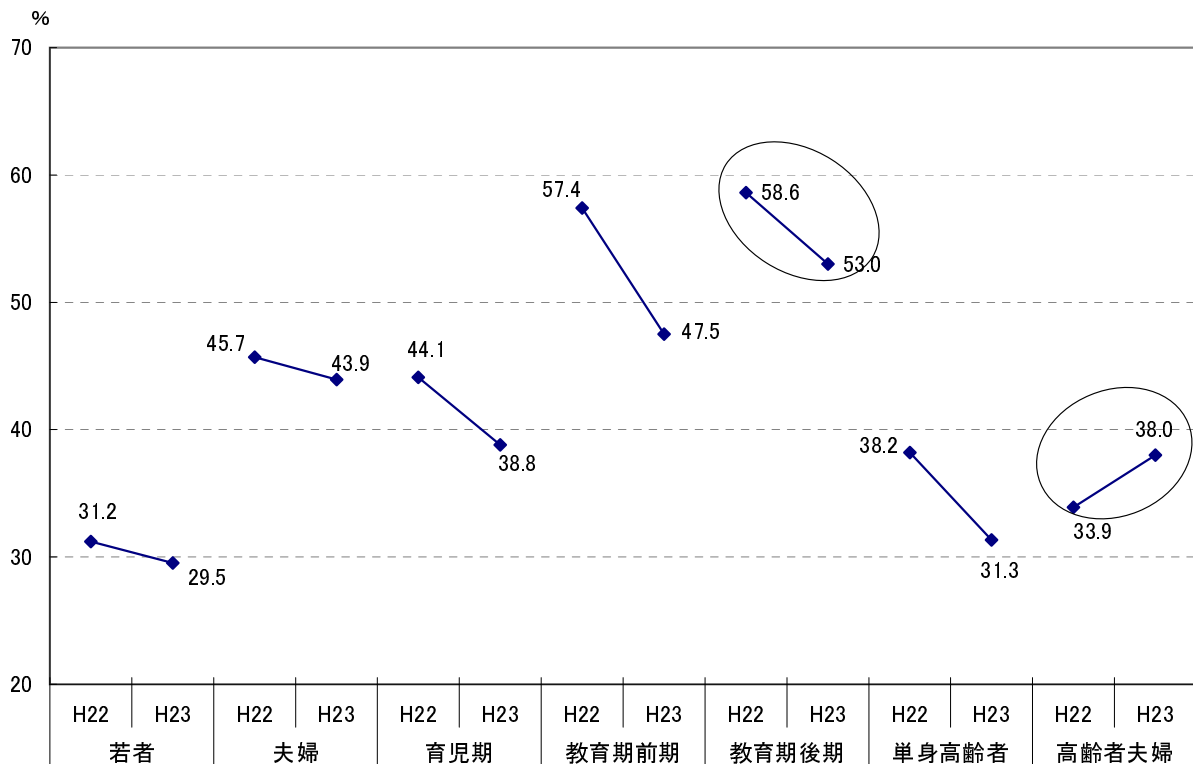
○ ライフステージ別にみると、「苦しくなった」と感じている人は、「高齢者夫婦」を除くすべてのライフステージで昨年度より減少。

しかし、「教育期後期」は、「苦しくなった」と感じている人は5.6ポイント減少したものの、53.0%と、なお半数を超えている。

● 1年前と比較した暮らし向きの実感(県全体)



● ライフステージ別の「苦しくなった」割合の変化

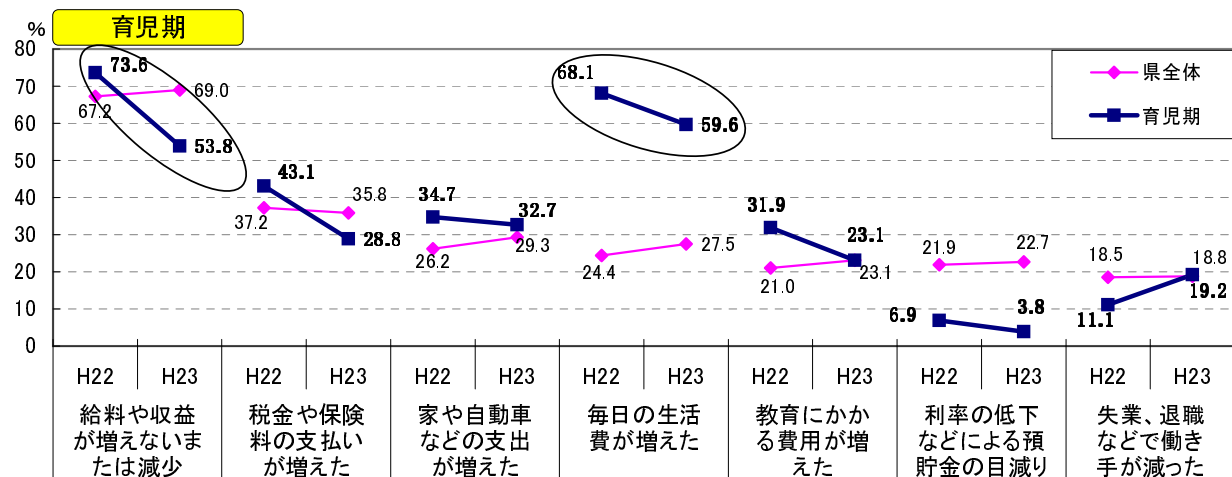
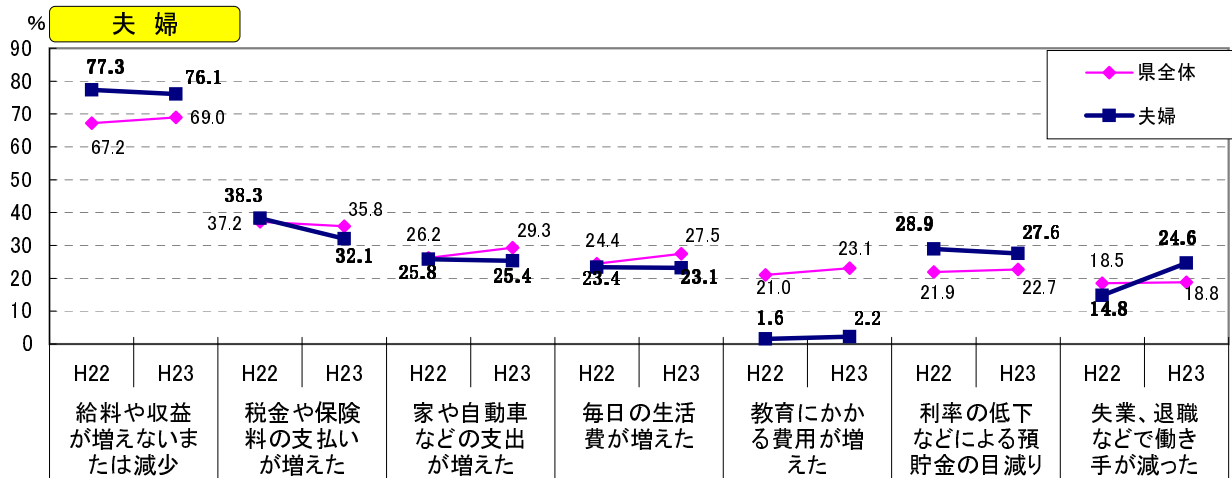
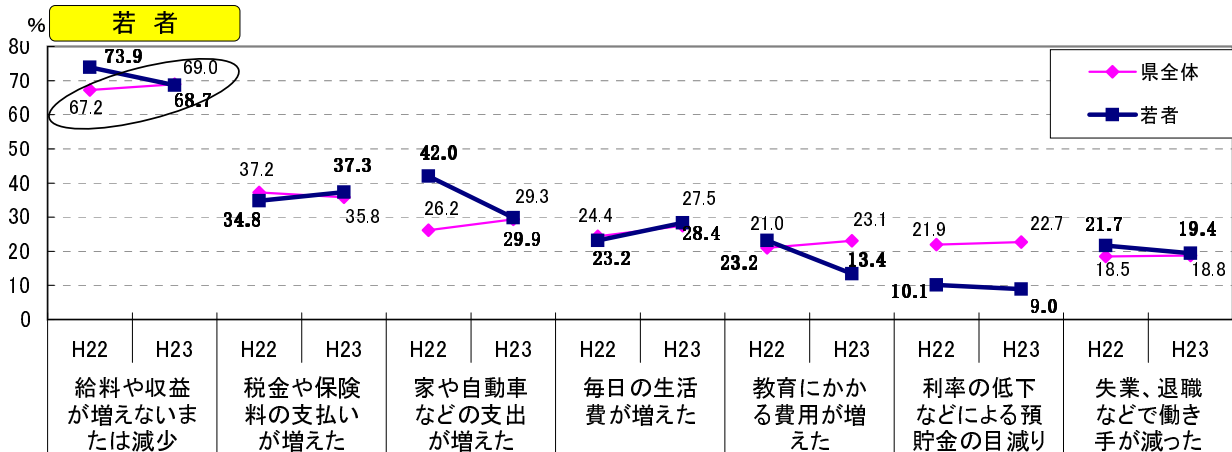


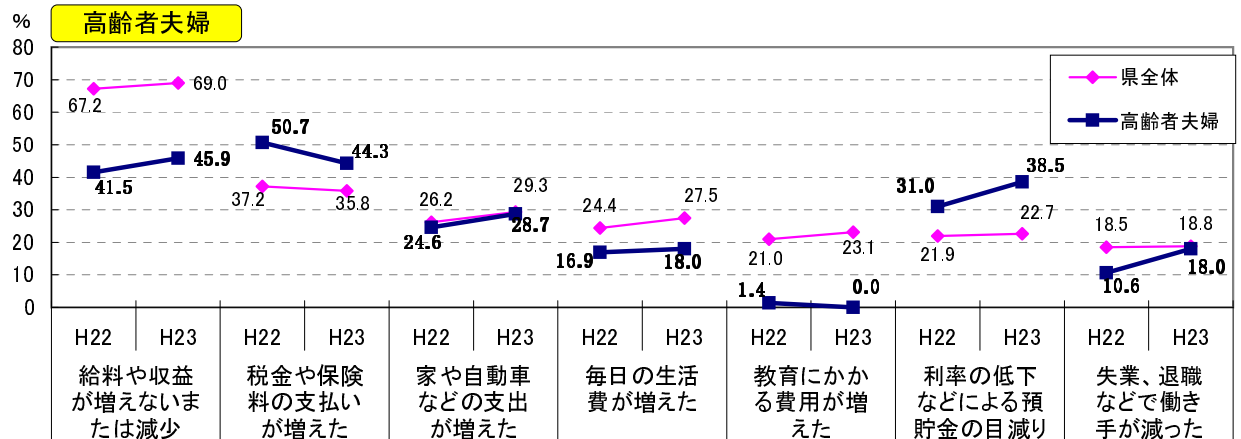
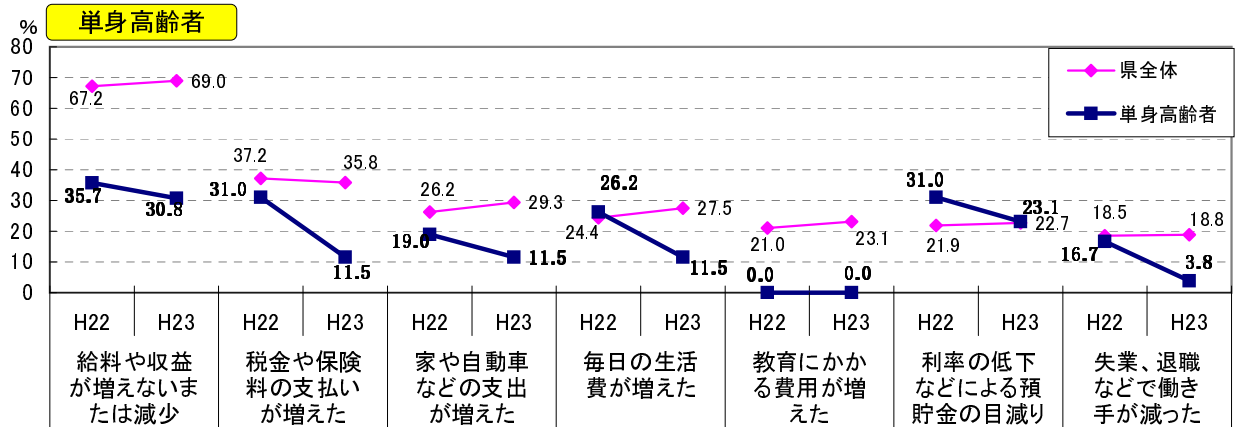
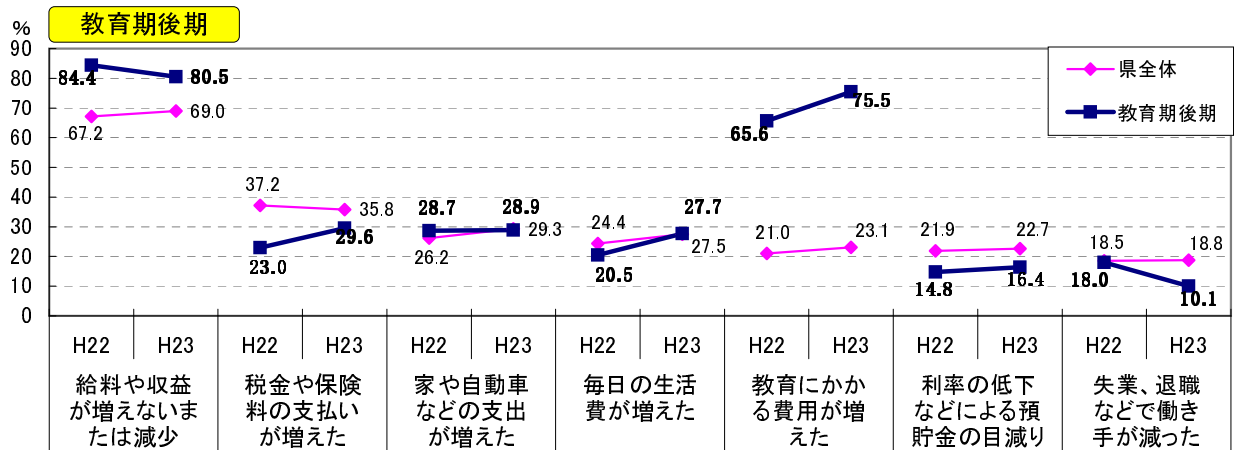
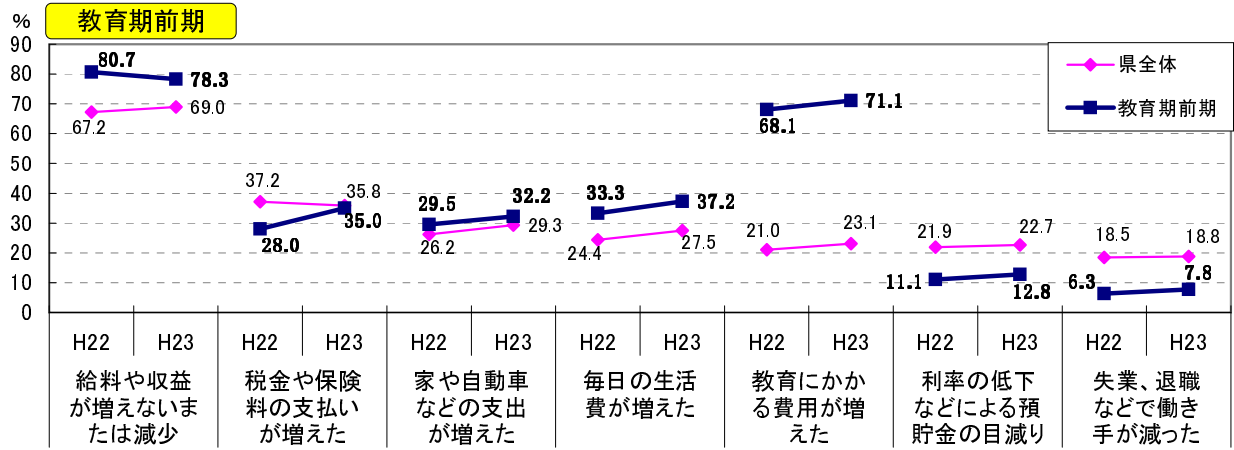
● 暮らし向きが苦しくなった理由

○ 暮らし向きが苦しくなった理由は、県全体で「給料や収益が増えない、または減少したから」が69.0%で最も多く、昨年度に比べ1.8ポイントの増加。

○ 「給料や収益が増えない、または減少したから」をライフステージ別に比べると、「育児期」が19.8ポイント減少の53.8%と、他のライフステージより大きく減少。

○ また、「毎日の生活費が増えたから」もライフステージ別に比べると、「育児期」が8.5ポイント減少したものの、なお59.6%と他のライフステージより高い。





(3) 日頃の生活での悩みや不安の内容

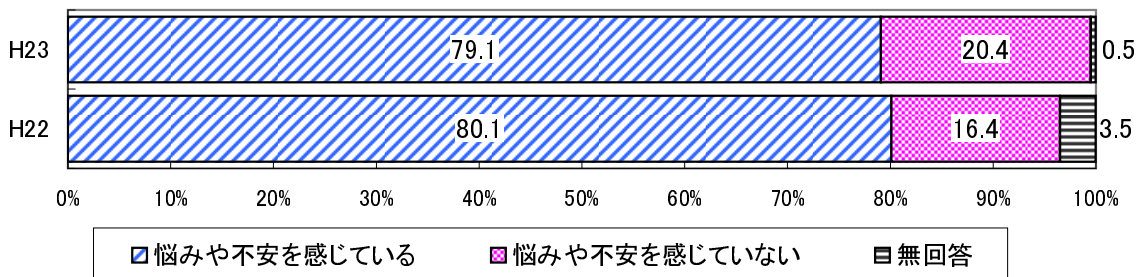
○「悩みや不安を感じている」人は、県全体で79.1%と昨年度より1.0ポイント減少。

○ 悩みや不安の内容は、「老後の生活設計」(58.5%)、「自分の健康」(57.0%)、「今後の収入」(54.3%)と続き、上位2項目は昨年度と同じで、他の項目も大きな順位変動はない。

○ ライフステージ別に割合が高いのは、

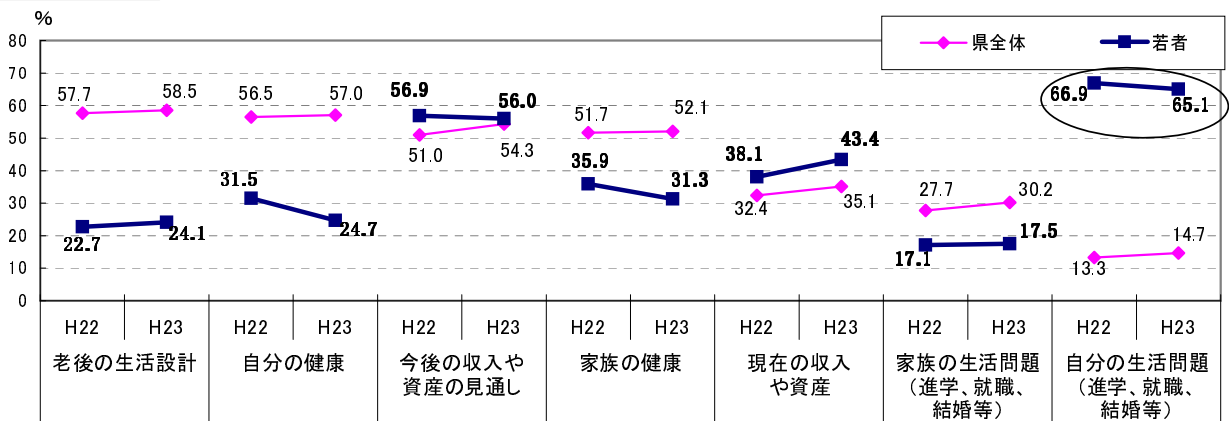
- ・「若者」……………「自分の生活上の問題(進学、就職、結婚等)」(65.1%)
- ・「夫婦」……………「老後の生活設計」(74.0%)
- ・「育児期」……………「今後の収入や資産の見通し」(64.3%)
- ・「教育期前期」……………「今後の収入や資産の見通し」(67.4%)
- ・「教育期後期」……………「今後の収入や資産の見通し」(66.8%)
- ・「単身高齢者」、「高齢者夫婦」…「自分の健康」(単身高齢者:78.4%、高齢者夫婦:78.1%)

● 日頃の生活での悩みや不安の有無(県全体)

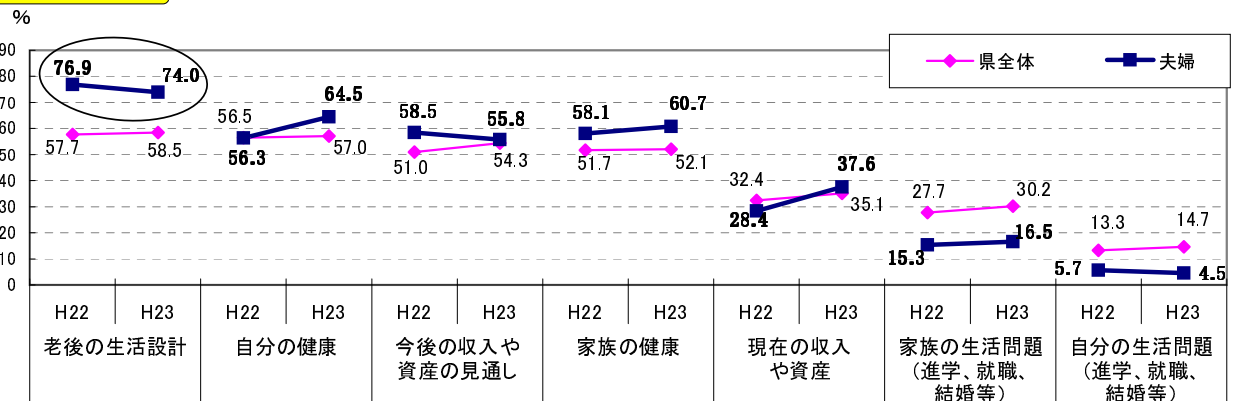


● 悩みや不安の内容

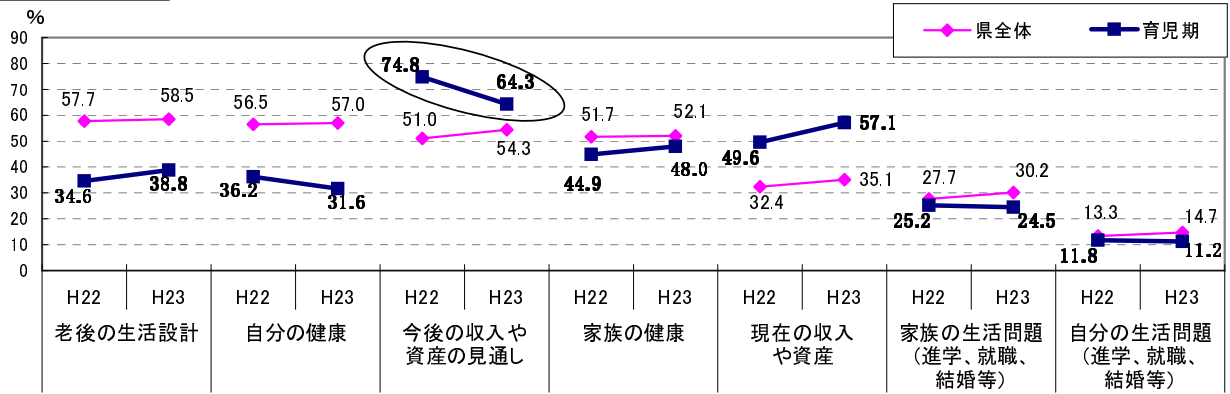
若者



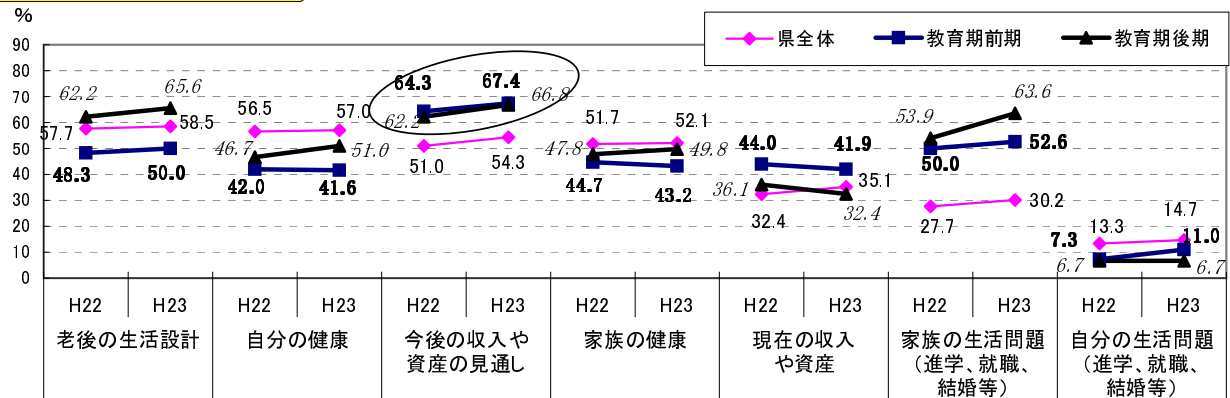
夫婦



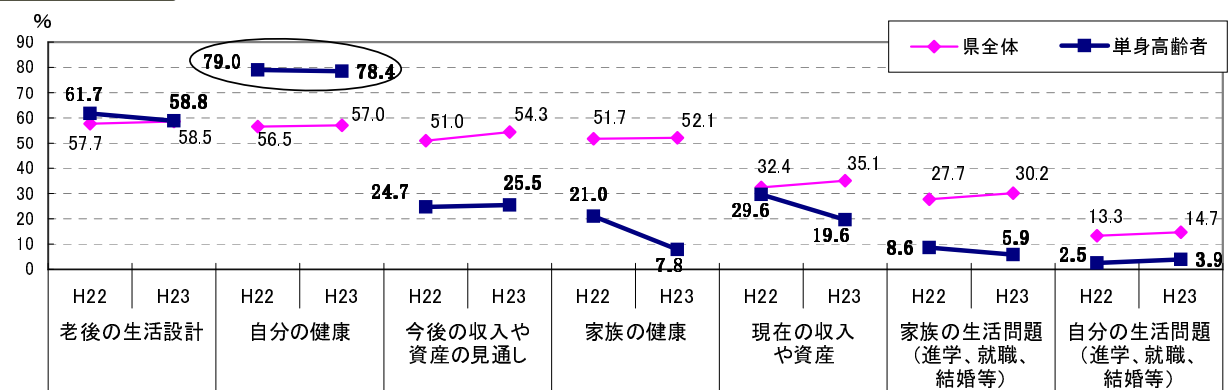
育児期



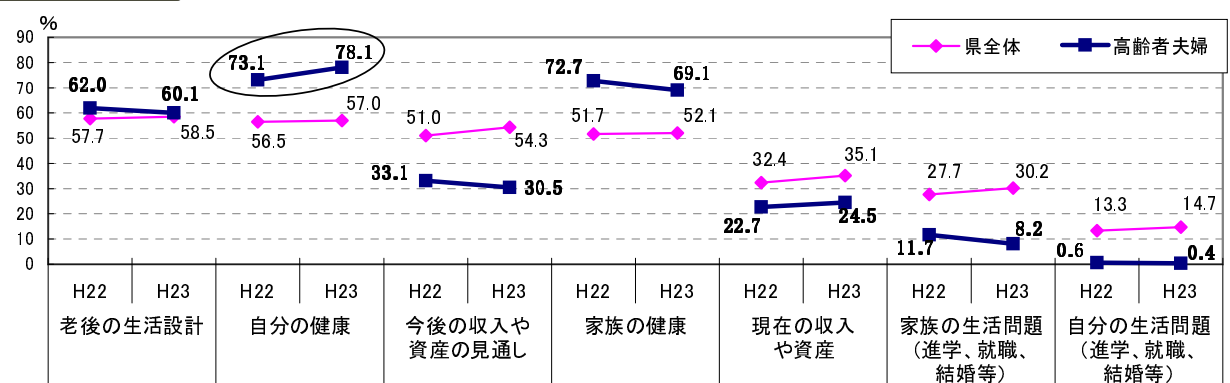
教育期前期・教育期後期



単身高齢者



高齢者夫婦

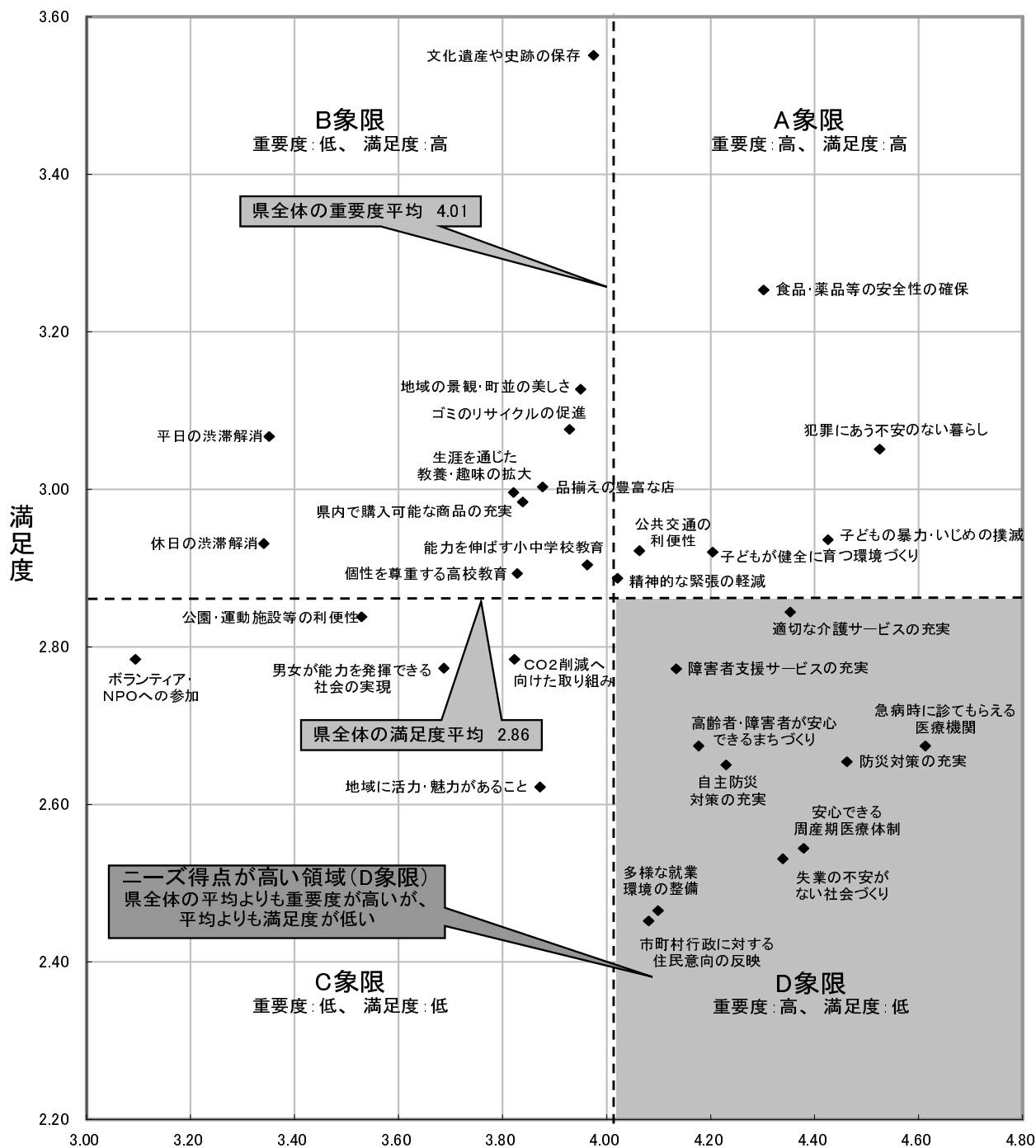


2. 生活に関する重要度・満足度(経年変化をみる項目)

(1) 重要度・満足度の一覧(県全体)

ニーズ得点は、「(重要度)×(6-満足度)」により、求められます。
 ニーズ得点は、重要度が高く、満足度が低い項目ほど高くなります。

○ 身近な生活に関する31項目それぞれについて、重要度と満足度の関係を見ると、「(D象限)重要度が高く、満足度が低い」(図の右下)に属する、「急病時に診てもらえる医療機関」、「安心できる周産期医療体制」、「失業の不安がない社会づくり」は、ニーズ得点の高い1位から3位の項目となっている。



(重要度の5段階評価)

- 5 きわめて重要
- 4 かなり重要
- 3 どちらともいえない
- 2 さほど重要ではない
- 1 まったく重要でない

重要度

(満足度の5段階評価)

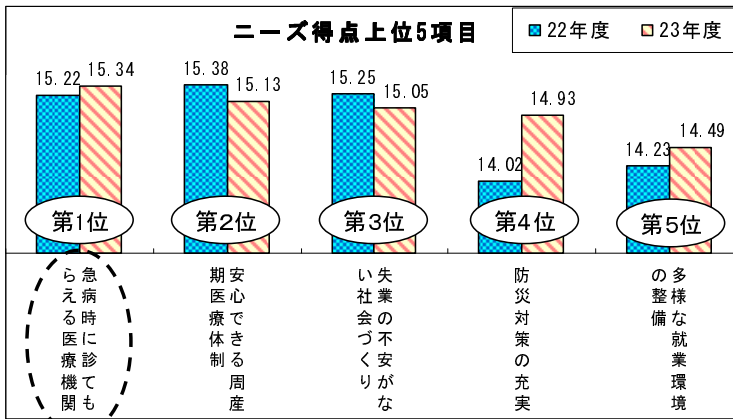
- 5 十分満たされている
- 4 かなり満たされている
- 3 どちらともいえない
- 2 あまり満たされていない
- 1 ほとんど満たされていない

【参考】重要度・満足度・ニーズ得点(前回比較・今回のニーズ得点が高い順)

順位	項目番号	項目	図中の項目の略称	重要度		満足度		ニーズ得点	
				前回	今回	前回	今回	前回	今回
1	19	急病時に診てもらえる医療機関があること	急病時に診てもらえる医療機関	4.61	4.61	2.70	2.67	15.22	15.34
2	20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	安心できる周産期医療体制	4.40	4.38	2.51	2.54	15.38	15.13
3	29	失業の不安がなく働けること	失業の不安がない社会づくり	4.36	4.34	2.51	2.53	15.25	15.05
4	11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	防災対策の充実	4.36	4.46	2.79	2.65	14.02	14.93
5	31	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	多様な就業環境の整備	4.05	4.10	2.48	2.47	14.23	14.49
6	18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	市町村行政に対する住民意向の反映	4.07	4.08	2.52	2.45	14.16	14.48
7	13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていないこと	自主防災対策の充実	4.13	4.23	2.76	2.65	13.40	14.17
8	23	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	4.22	4.18	2.71	2.67	13.90	13.89
9	22	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	適切な介護サービスの充実	4.39	4.35	2.82	2.84	13.95	13.74
10	7	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.41	4.43	2.90	2.94	13.69	13.56
11	21	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること	障害者支援サービスの充実	4.18	4.13	2.75	2.77	13.57	13.34
12	14	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること	犯罪にあう不安のない暮らし	4.51	4.53	3.03	3.05	13.39	13.34
13	15	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	地域に活力・魅力があること	3.85	3.87	2.65	2.62	12.89	13.08
14	24	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	子どもが健全に育つ環境づくり	4.23	4.20	2.92	2.92	13.03	12.95
15	25	イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと	精神的な緊張の軽減	4.01	4.02	2.94	2.89	12.26	12.52
16	2	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと	公共交通の利便性	4.12	4.06	3.09	2.92	12.00	12.51
17	27	一人ひとりが普段の生活においてCO2削減に取り組むこと	CO2削減に向けた取り組み	3.80	3.82	2.80	2.78	12.18	12.29
18	5	小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること	能力を伸ばす小中学校教育	3.97	3.96	2.89	2.90	12.34	12.27
19	17	男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現すること	男女が能力を発揮できる社会の実現	3.68	3.69	2.78	2.77	11.85	11.90
20	6	高校で生徒一人ひとりに適した教育が受けられること	個性を尊重する高校教育	3.81	3.83	2.87	2.89	11.94	11.89
21	12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	食品・薬品等の安全性の確保	4.33	4.30	3.25	3.25	11.90	11.82
22	1	品揃えの豊富な店が近くにあること	品揃えの豊富な店	3.91	3.88	3.10	3.00	11.37	11.62
23	30	県内で買いたいものが販売されていること	県内で購入可能な商品の充実	3.79	3.84	2.98	2.98	11.44	11.58
24	28	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること	ゴミのリサイクルの促進	3.93	3.93	3.11	3.08	11.36	11.49
25	9	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.84	3.82	2.99	3.00	11.58	11.48
26	26	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	地域の景観・町並の美しさ	3.94	3.95	3.16	3.13	11.18	11.35
27	10	公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと	公園・運動施設等の利便性	3.51	3.53	2.88	2.84	10.96	11.16
28	3	休日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	休日の渋滞解消	3.34	3.34	2.94	2.93	10.22	10.25
29	16	ボランティア・NPO活動に気軽に参加できること	ボランティア・NPOへの参加	3.10	3.09	2.85	2.78	9.76	9.95
30	4	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	平日の渋滞解消	3.34	3.35	3.09	3.07	9.72	9.83
31	8	文化遺産や史跡が大事にされること	文化遺産や史跡の保存	4.01	3.98	3.51	3.55	10.00	9.73

(2) ニーズ得点の上位

ニーズ得点は、「〈重要度〉×〈6－満足度〉」により、求められます。
ニーズ得点は、重要度が高く、満足度が低い項目ほど高くなります。



ニーズ得点上位5項目

○ 1位の「急病時に診てもらえる医療機関」は、昨年度の3位から上昇。

○ 2位の「安心してできる周産期医療体制」(昨年度1位)、3位の「失業の不安がない社会づくり」(同2位)も昨年に引き続き得点が高い。

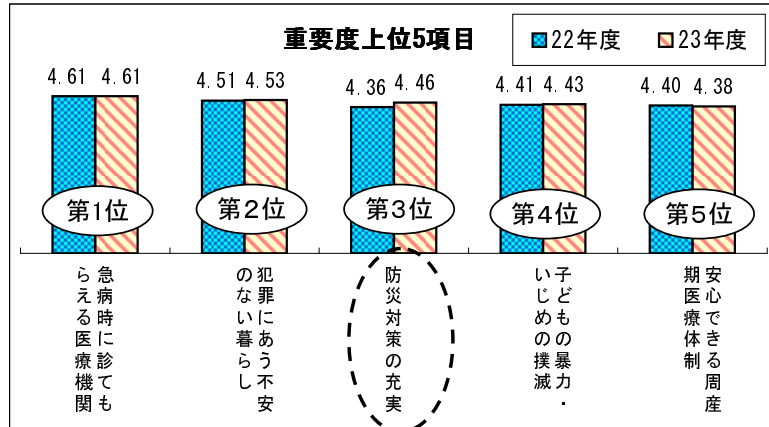
(3) 重要度上位5項目、満足度上位・下位5項目

ポイント表記は小数第2位までですが、順位決定や昨年度との比較には小数第3位以下を考慮しています。

重要度上位5項目

○ 1位は、昨年度と同じ「急病時に診てもらえる医療機関」。

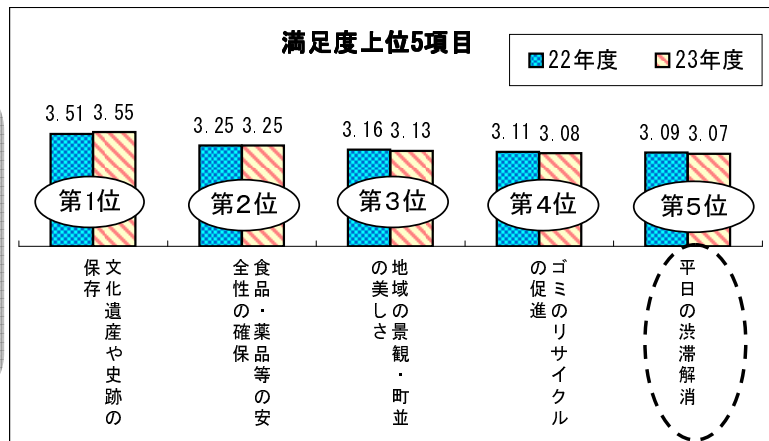
○ 「防災対策の充実」は、昨年度の7位から3位に上昇。



満足度上位5項目

○ 1位は「文化遺産や史跡の保存」。

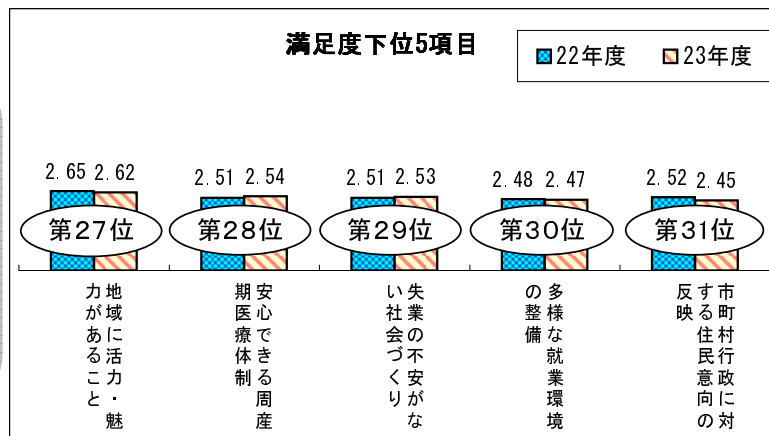
○ 1位から4位までは昨年度と同じ。「平日の渋滞解消」は、昨年度の6位から5位に上昇。



満足度下位5項目

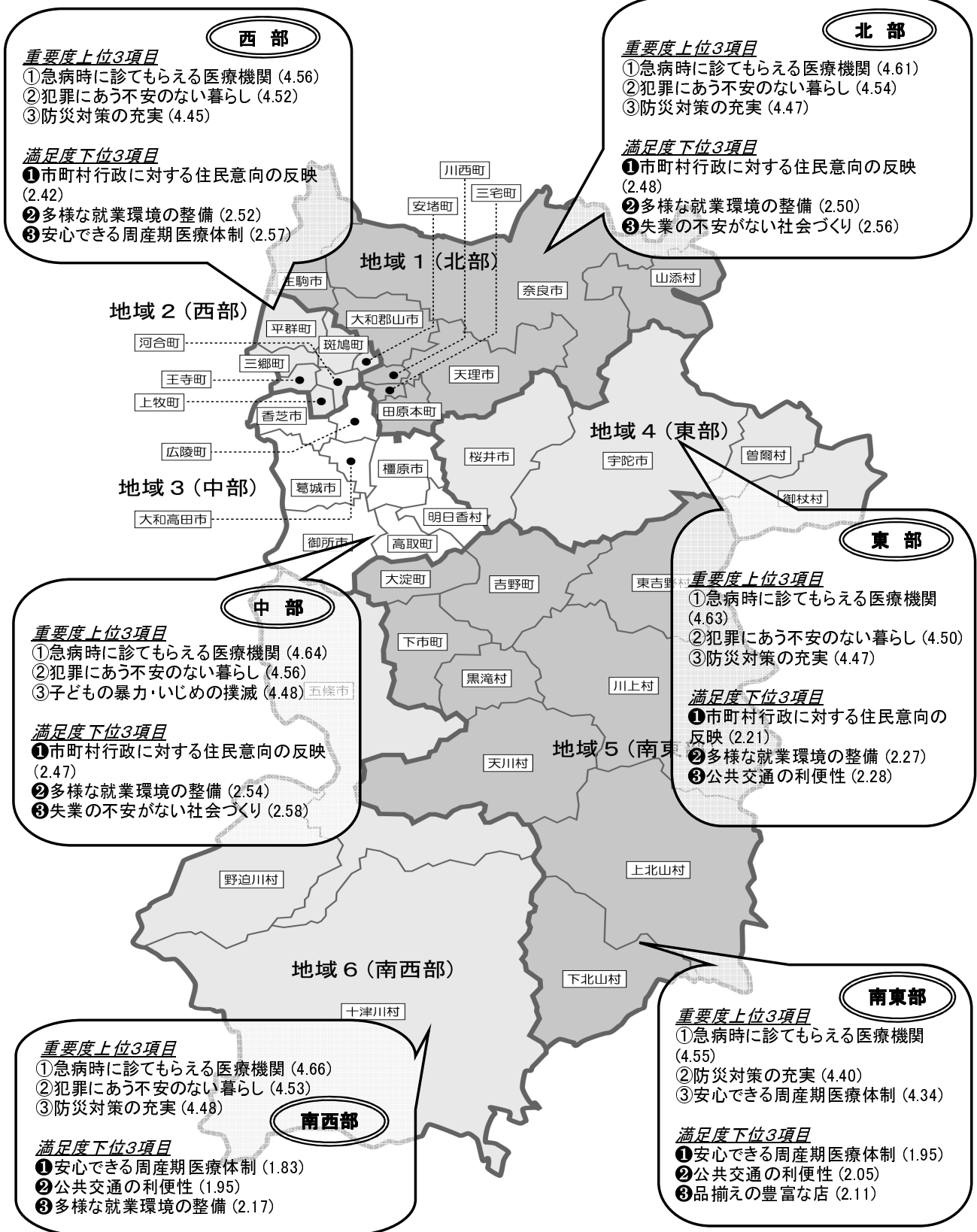
○ 最下位は、「市町村行政に対する住民意向の反映」。

○ 順位に変動はあるが、下位に占める5項目は昨年度と同じ。



(4) 重要度・満足度の一覧(地域別)

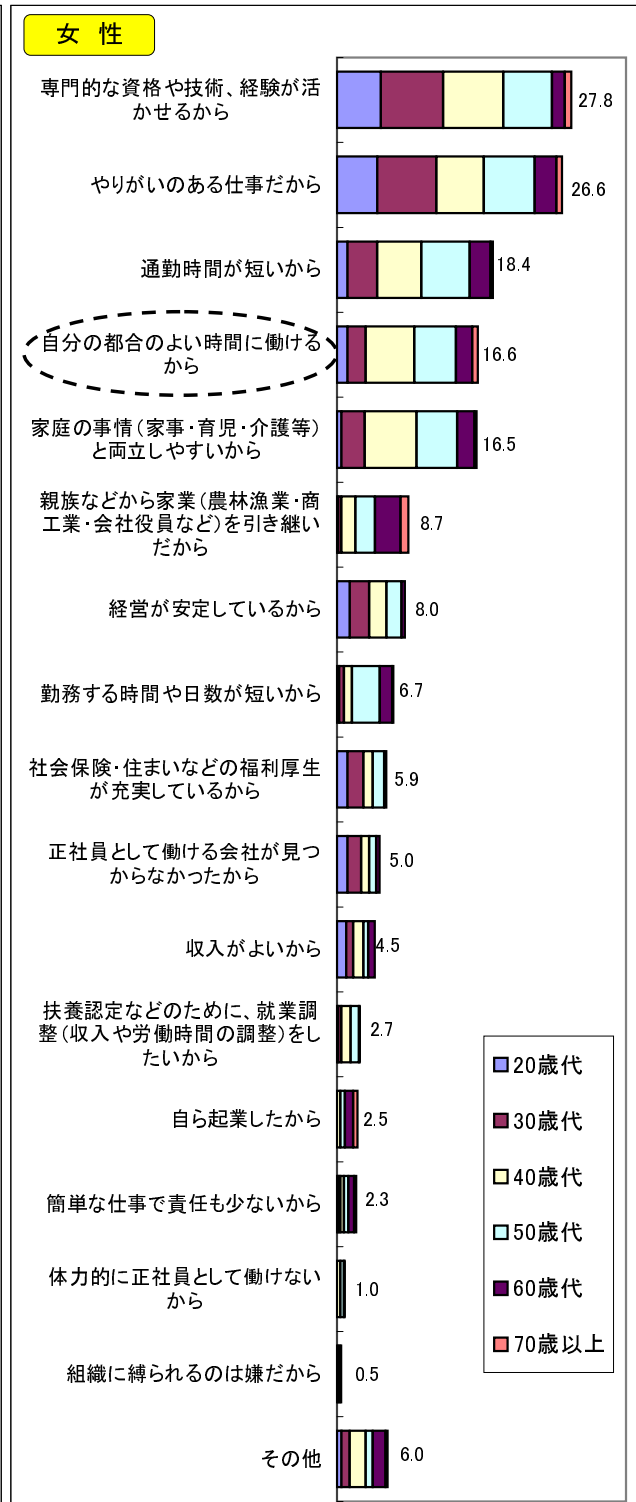
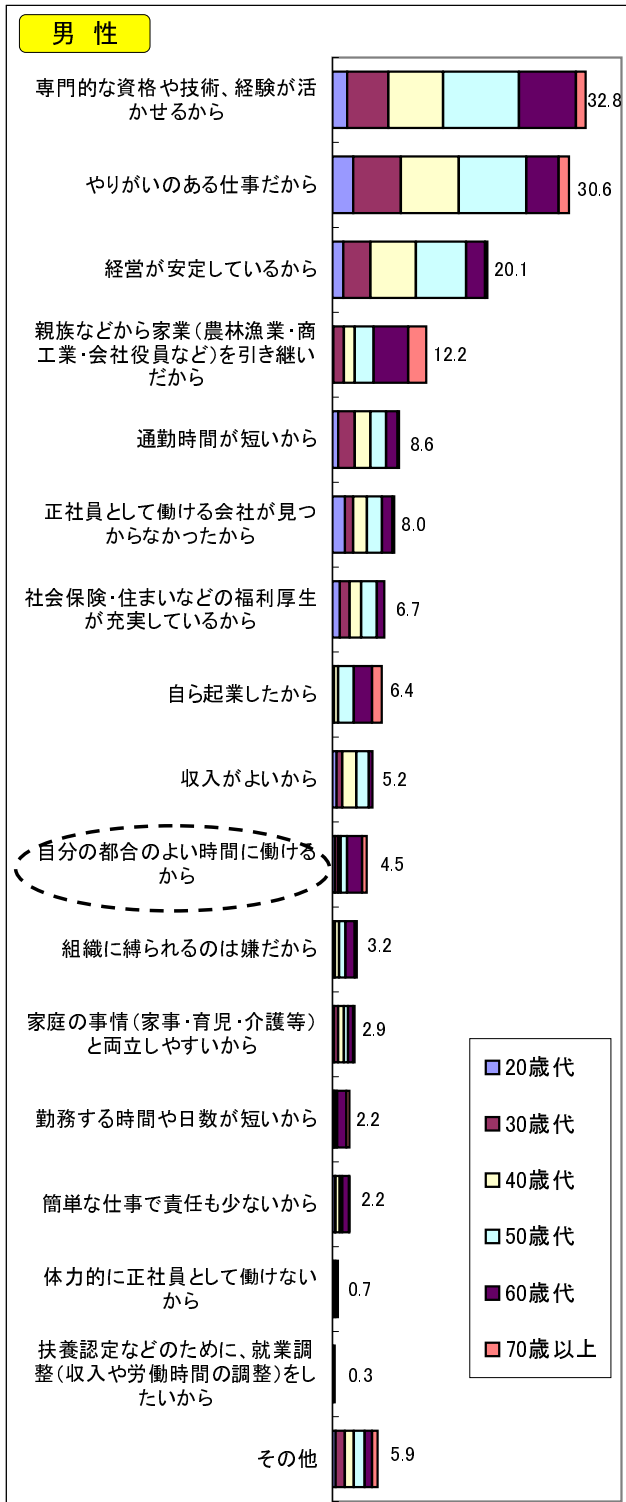
- すべての地域で、「急病時に診てもらえる医療機関」が重要度の1位。
- 「安心できる周産期医療体制」は、「西部」「南東部」「南西部」で満足度下位3項目に該当し、特に「南東部」「南西部」で県全体よりポイントが大きく下回っている。(県全体:2.54、南東部:1.95、南西部:1.83)。
- 「多様な就業環境の整備」は、「南東部」を除く地域で満足度下位3項目に該当。
- 「南東部」「南西部」で、「安心できる周産期医療体制」に次いで「公共交通の利便性」の満足度が低い。



3. 仕事に関する意識やニーズ

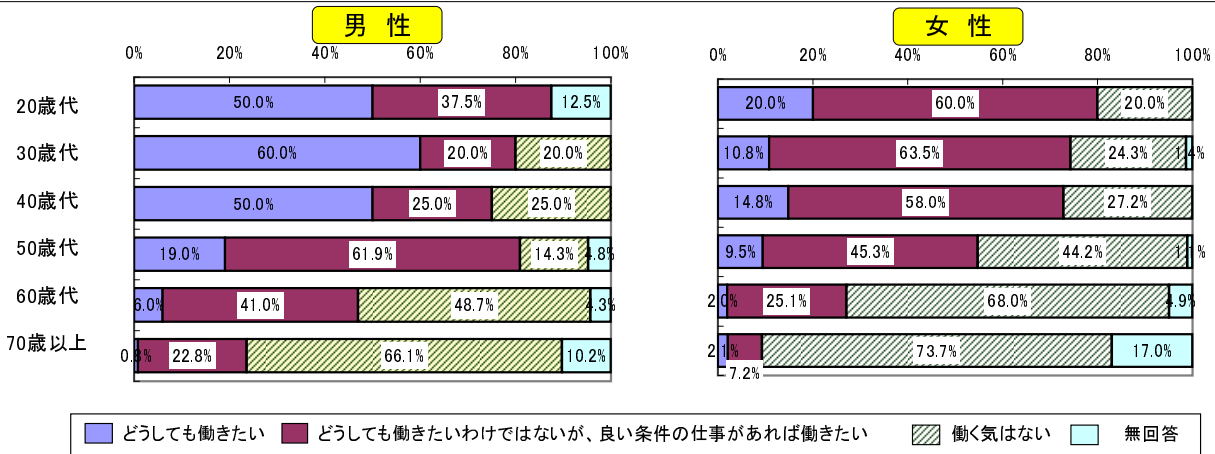
(1) 現在の仕事を選んだ理由

- 男女とも、1位は「専門的な資格や技術、経験が活かせる」、2位は「やりがいのある仕事だから」。
- 男性は、3位「経営が安定している」、4位「家業を引き継いだから」。
- 女性は、3位「通勤時間が短い」、4位「都合のよい時間に働けるから」など、男性と相違。



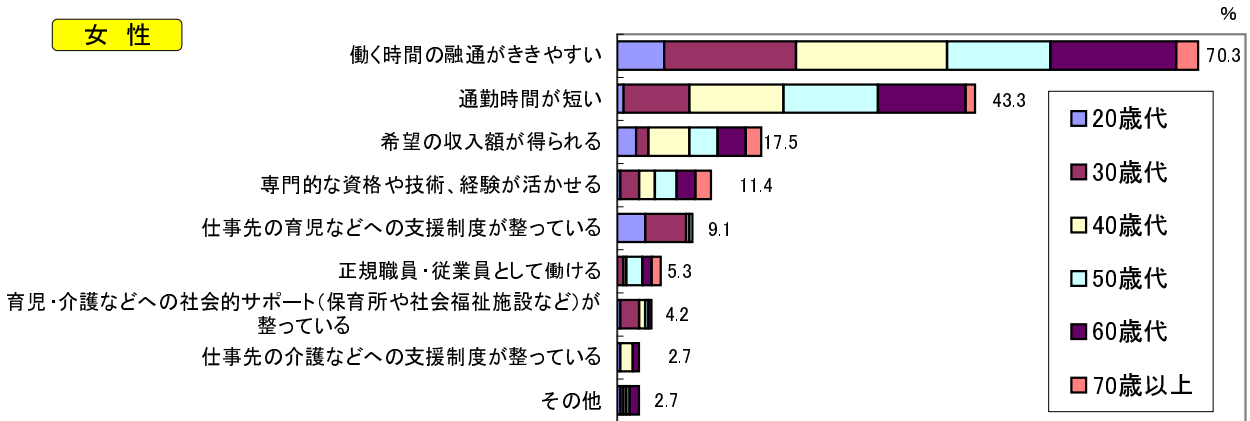
(2) 働いていない人の就労に対する意向

- 女性は、年齢の上昇とともに就労への意向が低下。
- また、女性では、「働く気がない」とする人が20歳代からすでに20%となっている。

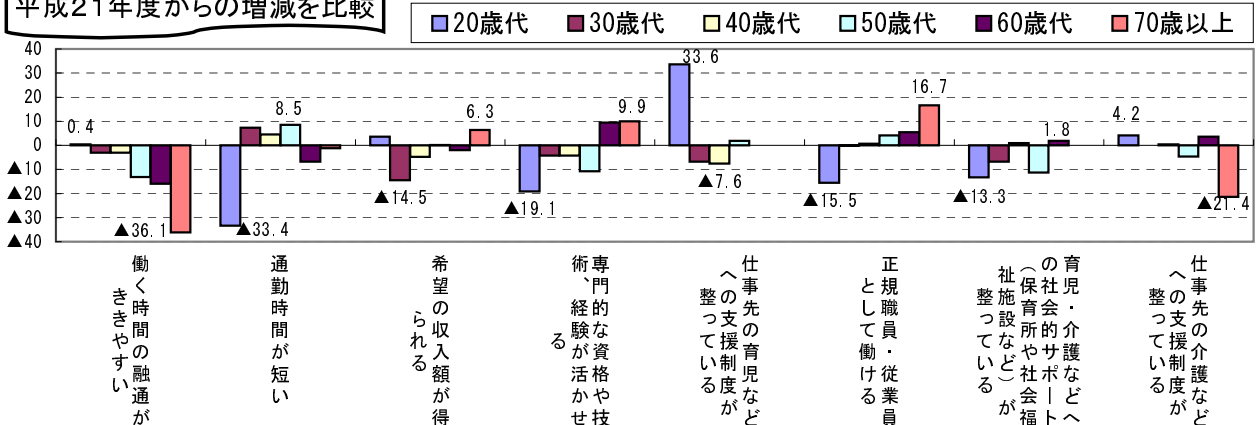


(3) 求職者(女性)が働くための条件として重視すること

- 求職者(女性)が、働く場合に重視する条件の1位は「働く時間の融通がききやすい」。
※求職者…「どうしても働きたい」もしくは「どうしても働きたいわけではないが、良い条件の仕事があれば働きたい」と答えた人
- 前回(平成21年度)と比べると、20歳代では、「仕事先の育児などへの支援制度」が最も増加し、「通勤時間が短い」が最も減少。30歳代では「希望の収入額が得られる」が最も減少。
※平成21年度調査の求職者…「仕事を探している」もしくは「仕事を探していないが、将来働きたいと思っている」と答えた人



平成21年度からの増減を比較



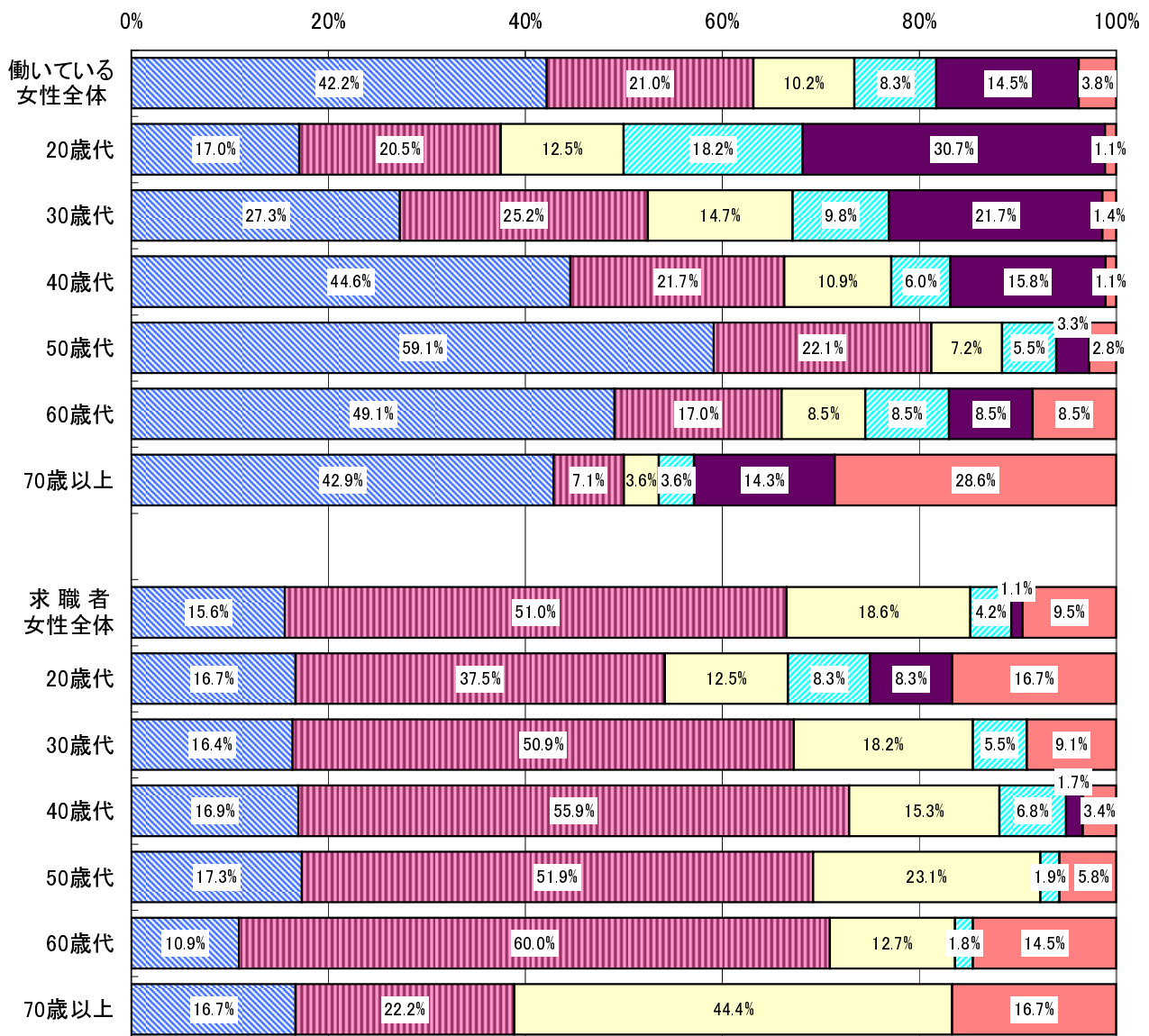
(4)働いている女性の通勤時間の実態と、求職者の女性の通勤時間に対する意向

○ 働いている女性全体の通勤時間(片道)の1位は「0～15分未満」(42.2%)、2位は「15～30分未満」(21.0%)だが、求職者の女性全体の通勤時間の希望は、1位が「15～30分未満」(51.0%)、2位は「30～45分未満」(18.6%)と長くなっている。

※求職者…「どうしても働きたい」もしくは「どうしても働きたいわけではないが、良い条件の仕事があれば働きたい」と答えた人

○ 一方で、「片道1時間以上」の通勤時間になると、働いている女性全体のうち14.5%が該当するが、求職女性全体のうちの希望者は1.1%と非常に少ない。

○ 働いている女性では、年齢層が高くなるほど正規の職員・従業者の割合が少なく(20歳代:40.4%、30歳代:29.1%、40歳代:23.4%、50歳代:14.5%)、通勤時間が短くなる傾向。



■ 片道0～15分未満 ■ 片道15～30分未満 □ 片道30～45分未満 ■ 片道45～60分未満 ■ 片道1時間以上 ■ 無回答

4. まちづくりに関する意識やニーズ

(1) まちづくりに関する評価

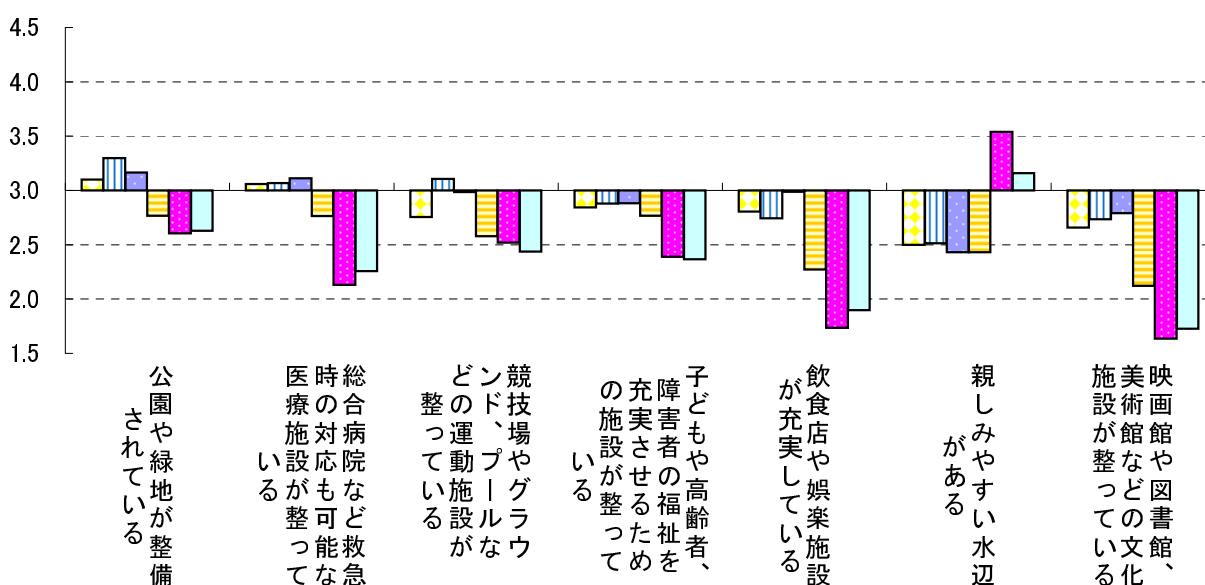
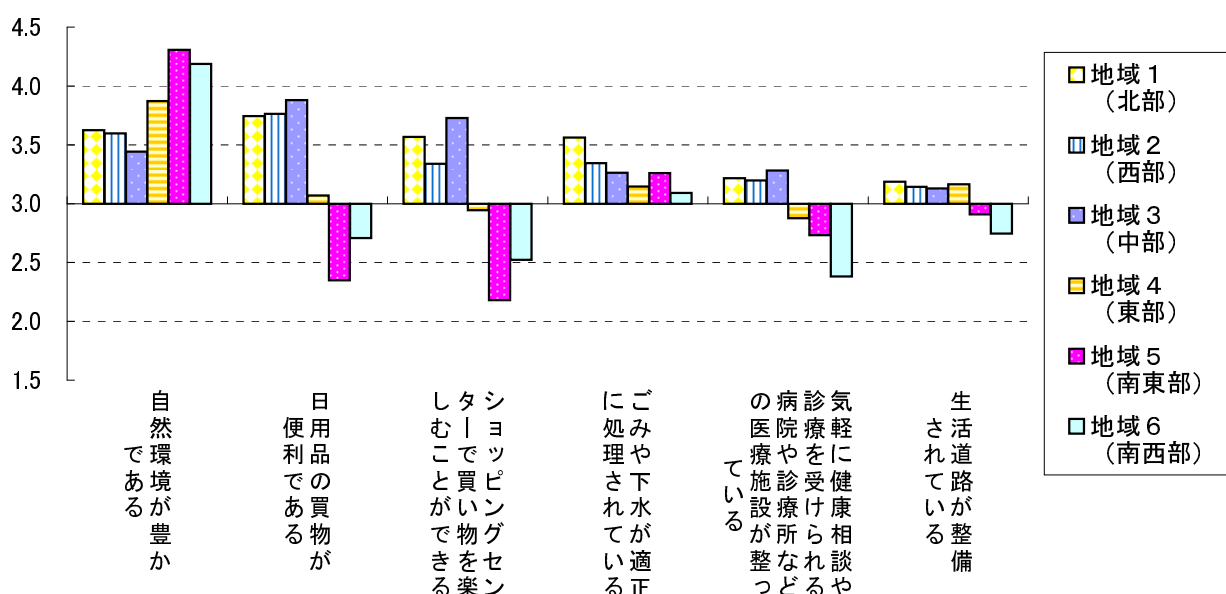
① 項目別に地域を比較

県全体の評価が高い項目順に並んでいます。

- 項目別に地域を比べると、「自然環境が豊か」、「ゴミや下水が適正に処理」は、いずれの地域でも3ポイントより高く評価され、逆に「文化施設の整備」、「飲食店や娯楽施設の充実」、「福祉施設の整備」は、いずれの地域も3ポイントより低い。
- 「ショッピングセンターの買物」、「気軽に受けられる医療施設整備」、「公園や緑地整備」、「総合病院などの医療施設整備」は、「北部」、「西部」、「中部」で3.0ポイントを越す評価だが、「東部」、「南東部」、「南西部」では3.0ポイントを下回っている。

(5段階評価) 5 そう思う 4 ややそう思う 3 どちらともいえない 2 あまり思わない 1 思わない

(5段階評価の中間3を基準線として表示)



② 地域別に項目を比較

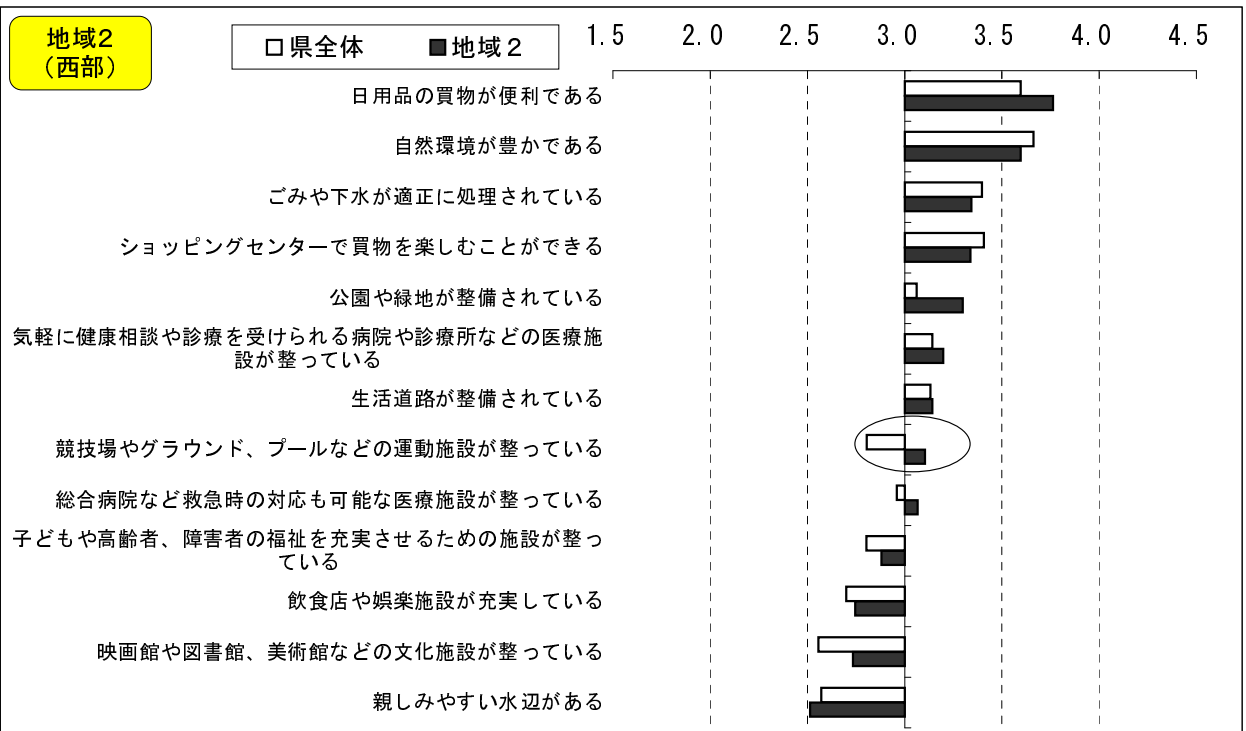
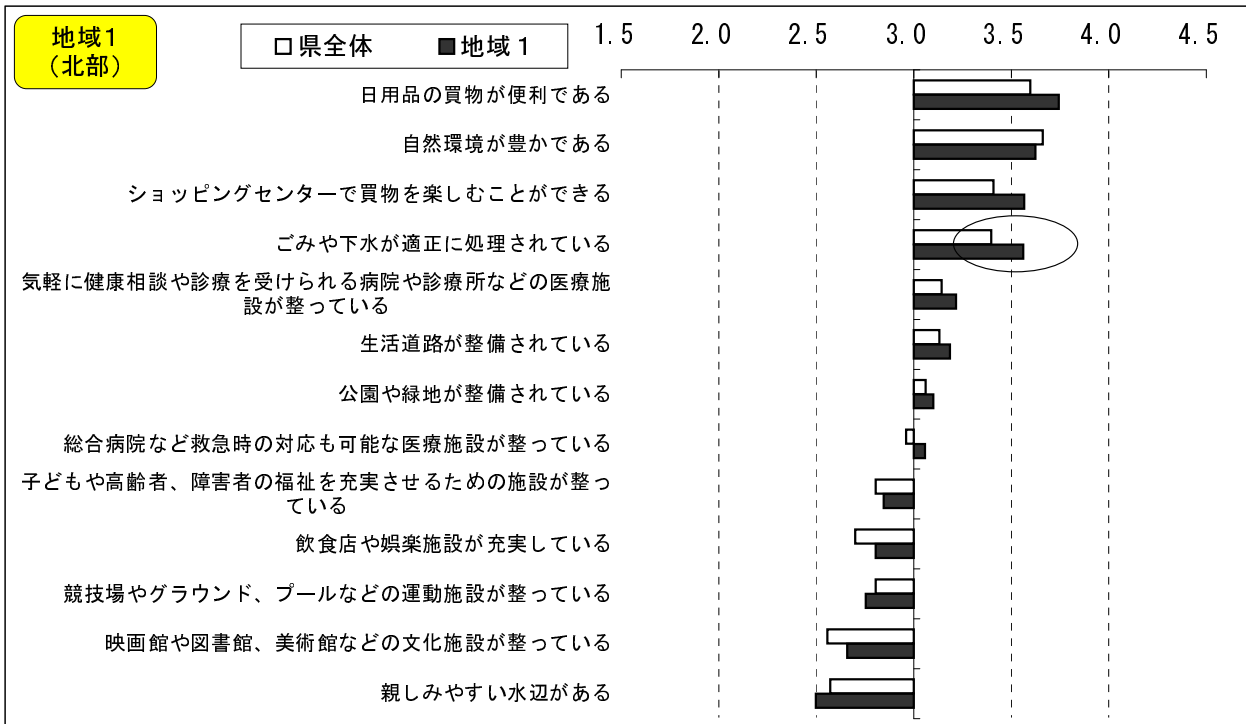
●地域別に評価の高い項目順に並んでいます。

○「北部」で3.0ポイント以上は8項目、最も評価が高いのは「日用品の買物の便利さ」、最も評価が低いのは「親しみやすい水辺の存在」で、県全体との差が最も大きいのは「ごみや下水の適正な処理」(プラス0.16)。

○「西部」で3.0ポイント以上は9項目、最も評価が高いのは「日用品の買物の便利さ」、最も評価が低いのは「親しみやすい水辺の存在」で、県全体との差が最も大きいのは「運動施設の整備」(プラス0.3)。

(5段階評価) 5 そう思う 4 ややそう思う 3 どちらともいえない 2 あまり思わない 1 思わない

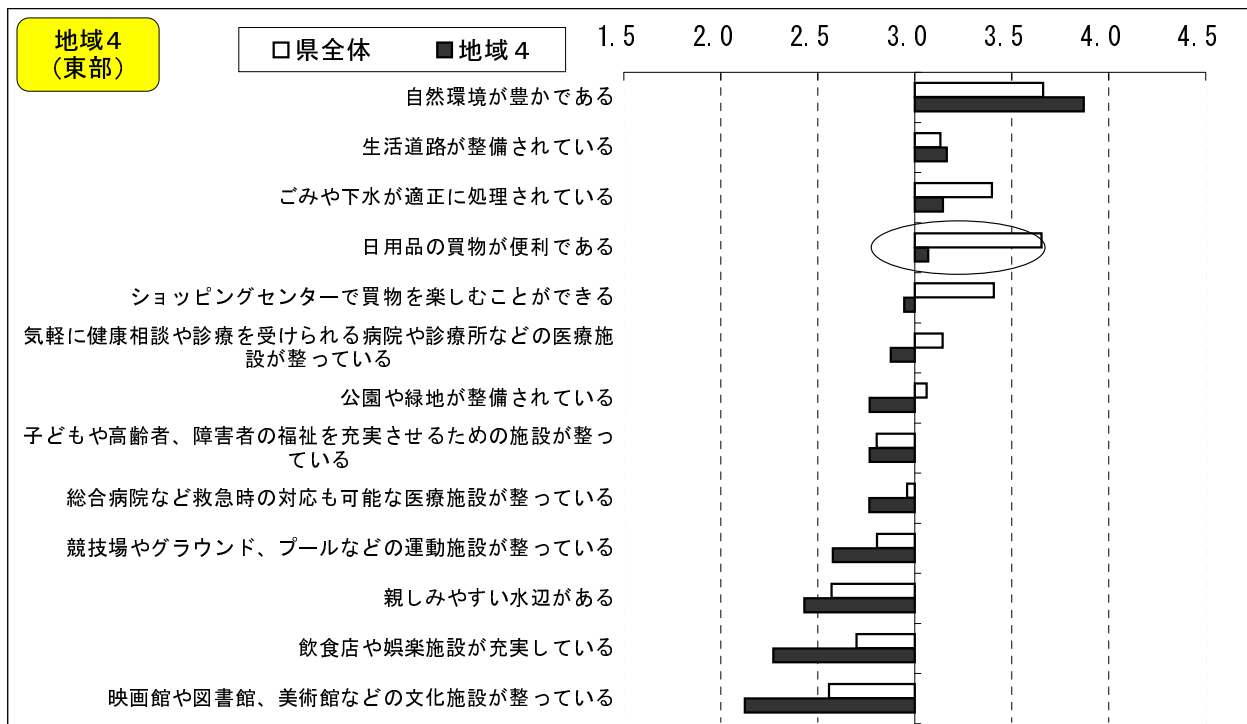
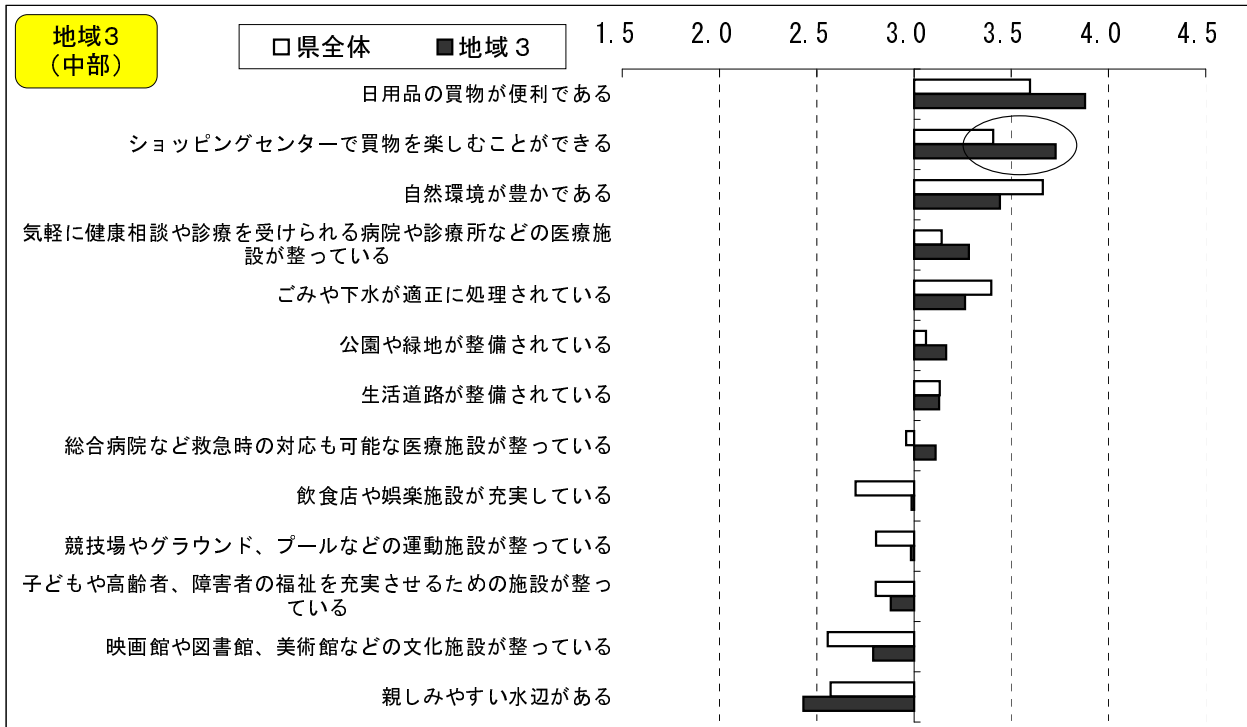
(5段階評価の中間3を基準線として表示)



○「中部」で3.0ポイント以上は8項目、最も評価が高いのは「日用品の買物の便利さ」、最も評価が低いのは「親しみやすい水辺の存在」で、県全体との差が最も大きいのは「ショッピングセンターの充実」(プラス0.32)。

○「東部」で3.0ポイント以上は4項目、最も評価が高いのは「自然環境が豊か」、最も評価が低いのは「文化施設の整備」、県全体との差が最も大きいのは「日用品の買物の便利さ」(マイナス0.58)。

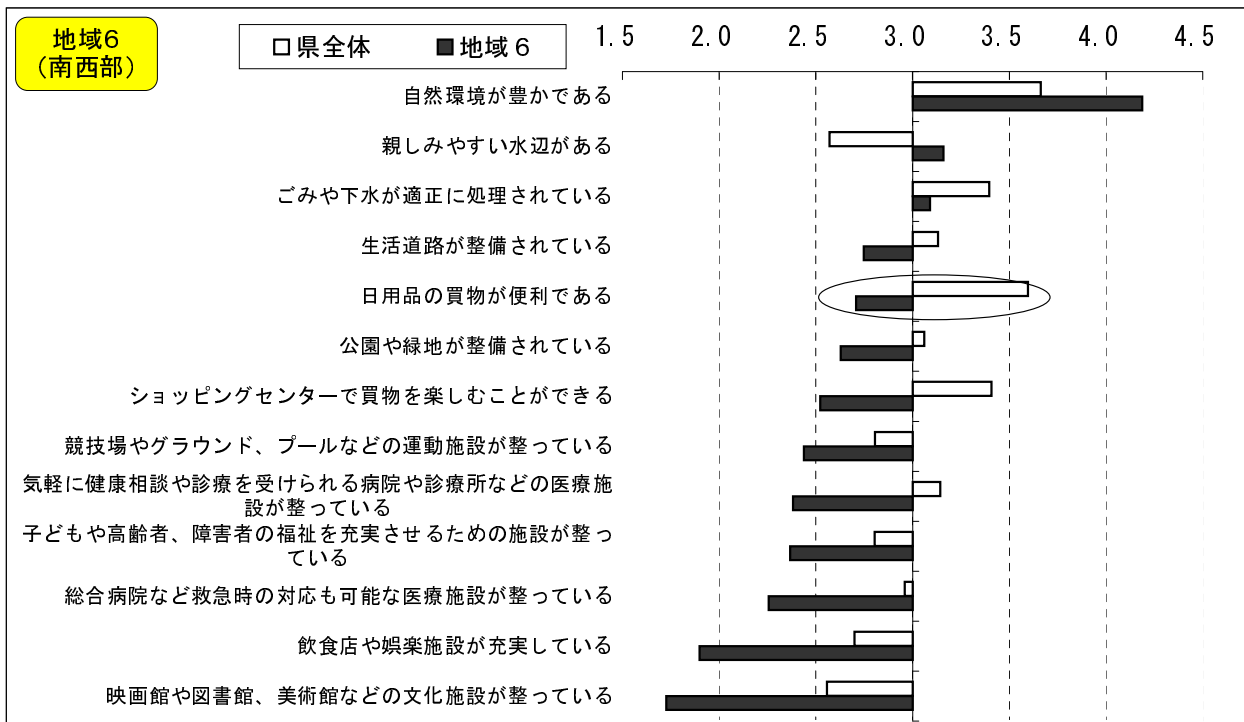
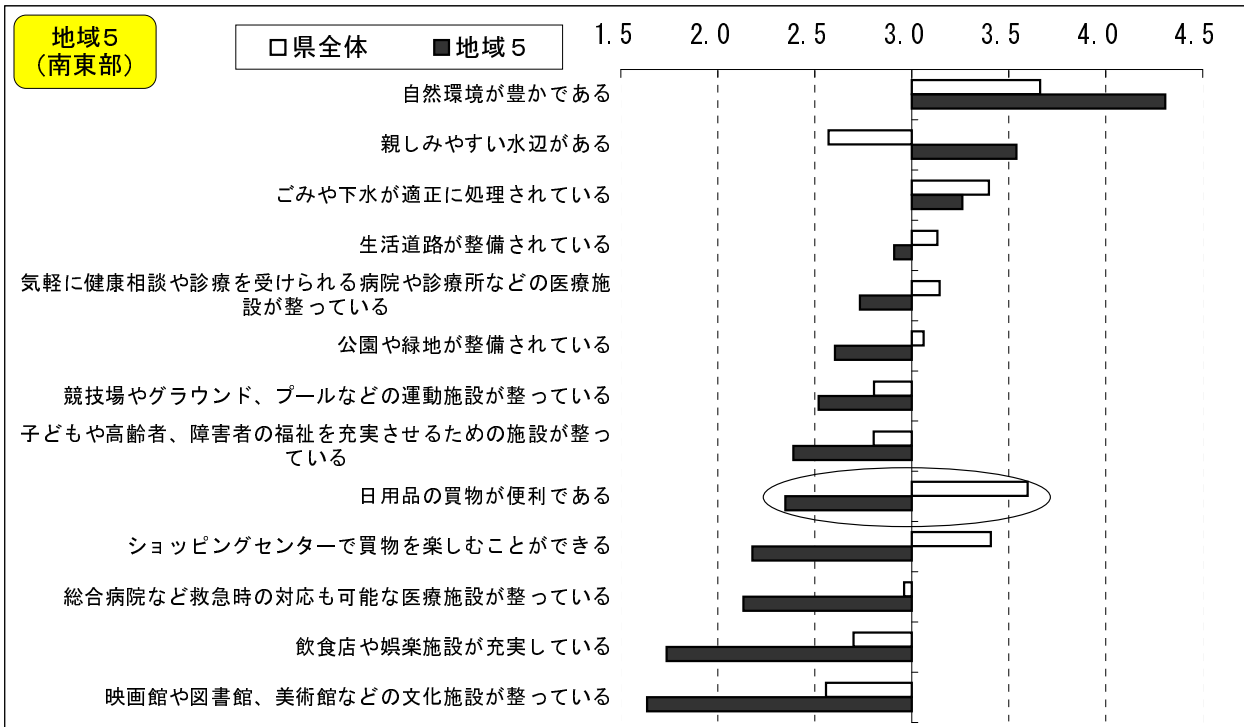
(5段階評価) 5 そう思う 4 ややそう思う 3 どちらともいえない 2 あまり思わない 1 思わない
(5段階評価の中間3を基準線として表示)



○「南東部」で3.0ポイント以上は3項目、最も評価が高いのは「自然環境が豊か」、最も評価が低いのは「文化施設の整備」で、県全体との差が最も大きいのは「日用品の買物の便利さ」(マイナス1.25)。

○「南西部」で3.0ポイント以上は3項目、最も評価が高いのは「自然環境が豊か」、最も評価が低いのは「文化施設の整備」で、県全体との差が最も大きいのは「日用品の買物の便利さ」(マイナス0.89)。

(5段階評価) 5 そう思う 4 ややそう思う 3 どちらともいえない 2 あまり思わない 1 思わない
(5段階評価の中間3を基準線として表示)



(2)平成21年度調査との増減値についてライフステージを比較

- 平成21年度調査のポイントとの差をみると、「避難経路の確認」や「防災訓練などへの参加」は、すべてのライフステージでプラスとなり、意識が高まっている。
- 全体的にプラスとなった項目が多く、「特に備えはしていない」が、「単身高齢者」を除くすべてのライフステージで減少していることから、災害に対する備えの意識が高まっていることがうかがえる。
- 「家族との連絡方法の確認」では「単身高齢者」、「防災用品の備蓄」では「単身高齢者」と「高齢者夫婦」だけがマイナスとなっている。

県全体の増加が多い項目順に並んでいます。

□県全体 ■若者 □夫婦 □育児期 □教育期前期 □教育期後期 ■単身高齢者 □高齢者夫婦

▲15.0 ▲10.0 ▲5.0 0.0 5.0 10.0 15.0

